



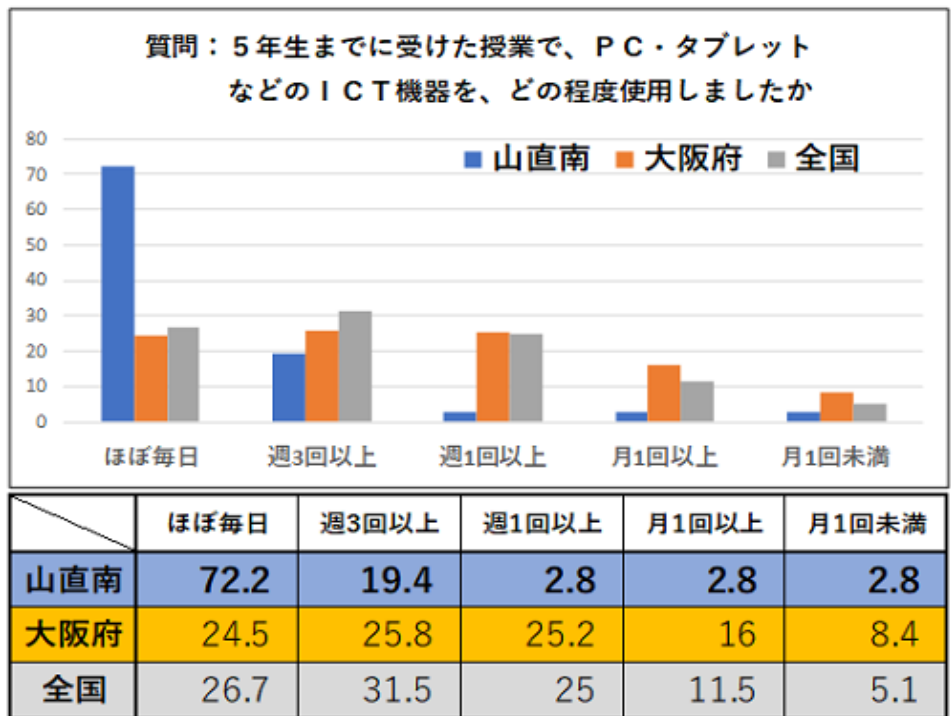
山直南小学校はICT教育を強力に進めています

○昨年度よりGIGAスクール構想がスタートし、児童一人ひとりがタブレット端末を自由に活用できる環境が整って2年目を迎えます。

ICT教育は、今や各学校における必須の教育課題となっています。本校も「スマートスクール」を目指す学校として、日々の授業における積極的な活用に取り組んでいるところです。

○令和4年度の全国学力・学習状況調査では、ICT機器の各学校での活用状況を調べるために、児童質問紙によるアンケート調査が行われています。今回は、本校での結果の概要について公表します。

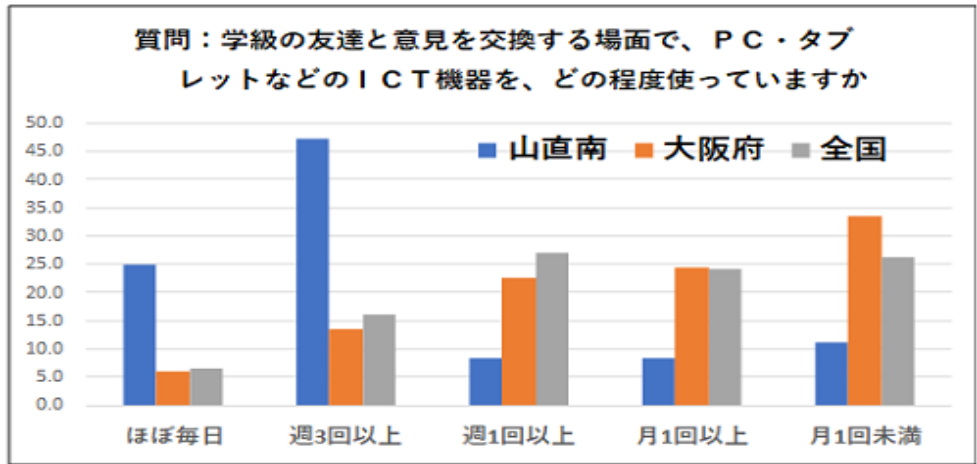
(資料1)



※ 子どもたちは上記の5つの選択肢から1つを選んで回答しています。

○本校でのICT機器の活用状況において、「ほぼ毎日活用している」と回答した児童が、大阪府平均や全国平均と比べて3倍近くもありました。日々の授業におけるICT機器の活用がたいへん高い水準にて実施できていることや、児童がよく活用したと実感できていることが、今回の全国的な調査からも明らかになりました。

(資料2)

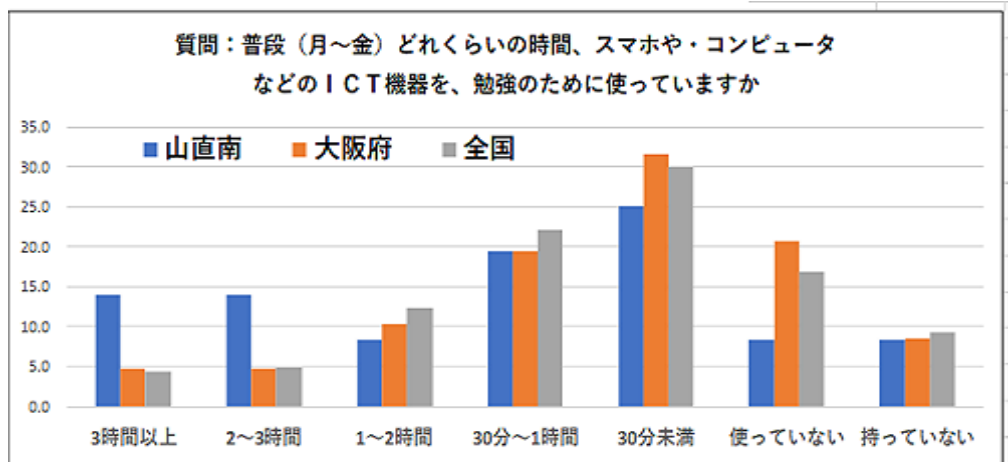


	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
山直南	25.0	47.2	8.3	8.3	11.1
大阪府	6.0	13.4	22.5	24.5	33.4
全国	6.4	16.1	26.9	24.1	26.2

※ 子どもたちは上記の5つの選択肢から1つを選んで回答しています。

○児童がICT機器の有用性について肯定的に受け止め、学習ツールとして適切に活用している高い意識が育っていることが伺えます。

(資料3)



	3時間以上	2~3時間	1~2時間	30分~1時間	30分未満	使っていない	持っていない
山直南	13.9	13.9	8.3	19.4	25.0	8.3	8.3
大阪府	4.7	4.7	10.4	19.5	31.6	20.7	8.6
全国	4.3	4.9	12.4	22.2	30.0	16.9	9.2

※ 子どもたちは上記の7つの選択肢から1つを選んで回答しています。

○今回の全国調査の結果からは、ICT機器の活用機会や頻度といった「学習の量」の観点で、本校は『**全国でもトップレベルの水準を誇っている**』ことが分かりました。今後は、ICTを活用した「学習の質の向上」や「家庭学習との連携」を模索していきながら、ICT教育の『質と量との』更なる充実を図ってまいります。